

一日入学あいさつ

本日は、お忙しい中、お集まりいただきいて、ありがとうございます。

細江小学校では、先週ぐらいから、インフルエンザにかかってしまお子さんが増えています。

そこで、新一年生のみなさんは楽しみにしててくれたことと思いますが、新一年生と1年生の交流については、本日は行わないことにさせていただきました。

申し訳ありませんでした。

私は、時々、授業の様子を見に学校の中を歩くときがあります。授業のじゃまをしちゃいけないと思うので、そっと歩いているんです。

でも、私は、きやしゃで、小柄なので(笑)、すぐに子供たちにみつかってしまいます。

そうすると、子どもたちは、授業中なのに、廊下にいる私に手をふってくれるんです。

ああ、授業のじゃまをしちゃった…と思いながらも、せっかくなので、手を振り返すんです。そんな様子を授業をしている先生たちにもにこにこ見てくれています。

別に、私が人気者の校長だなんて言いたんじゃないですよ。細江小の子どもたちは、大人を「見張る人」「監視する人」とは思っていないんです。

細江小の子は、私たち教職員を含めた、大人のことを「自分たちのよさを見つけてくれる人」って、ポジティブにとらえてくれているんです。

なんで、細江の子が、そう思えるかというと、日々一緒に授業をしたり、生活をしたりしている担任の先生や授業の先生が、子どもたちのスマイルハートなところを、たくさん見つけて、価値づけてくれているからです。

4月から、お子さんが、新しく小学校に入学するということで、心配なことがいっぱいあるかもしれません。

でも、細江小は、子どもたちと教職員が、よい意味で「ともだち」「なかま」なんです。

ぜひ、お子さんに「細江小はスマイルハートなすてきな学校だよ」と伝えてあげてください。